



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について①

資料 1

1. かわさきパラムーブメントの取組

1 パラスポーツやってみるキャラバン

障害者スポーツ（パラスポーツ）の魅力子どもたちに体感してもらう参加型の体験講座を公立小学校及び、公立中学校・私立小・特別支援校・寺子屋で実施している。

オリンピック・パラリンピック開催年度までに全公立小学校で実施することによりパラリンピックへの関心を引きだすことにとどまらず、障害者スポーツへの興味や障害者への理解につながる。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまち

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

<公立小学校における実績及び今後の予定>

	平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	平成31年度 (2019年)	平成32年度 (2020年)	合計
実施学校数	11	18	21	32 (予定)	32 (予定)	114



今年度の様子

2 インクルーシブなかわさきハロウィン開催に向けた支援

今年度も車椅子利用者その他障害者のハロウィン・パレード及びキッズパレードへの参加を支援した。



今年度のメインビジュアル

3 商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業について

概要目的：市内事業者に、ハード面・ソフト面のバリアフリー接遇が可能な旨を利用者に表明する手段として「かわさきパラムーブメント」ロゴステッカーの掲出を通じ、事業者及び利用者が「めざせ！やさしさ日本代表！」を担う一員であることの理解を促し、障害のある人などが生き生きと暮らせるまちづくりを目指す。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

レガシー⑧来訪者が「行って良かった」と思えるまち

(1) 対象・基準

ア 対象

「かわさきパラムーブメント」の趣旨に賛同し、以下の基準のいずれかを満たす市内商店舗（飲食店、小売店等）を対象とする。

イ 基準

- ・障害者をはじめとするお客様に配慮した、ハード面のバリアフリー対応を行っている。（店舗入り口等に段差がない等）
- ・ソフト面においてバリアフリーに係る接遇の配慮を心掛けている。（障害者、外国人、高齢者、ベビーカー利用者、ハラル対応等）

(2) 展開について

ア 目標

- ・目標店舗数 1,000店舗（2021年度末）

イ 事業者との連携

- ・昨年度、本市と(株)ぐるなびは、共同事業として市内20店舗のバリアフリー状況の調査を実施した。店舗のバリアフリー状況は、現在(株)ぐるなびのHPを通じて発信している。
- ・新たにバリアフリー調査を実施し、(株)ぐるなびの特設サイトでバリアフリーに係る情報発信を行う他、調査した店舗について、ロゴ入りステッカーを配布し、掲出を促す。

ウ 店舗の従業員等を対象とした、心のバリアフリーセミナーを開催する。

エ 国のモデルプロジェクト採択

- ・本市は、平成30年5月29日付で「共生社会ホストタウン（※）」として内閣官房に登録されており、今般「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査（ユニバーサルデザイン2020行動計画推進調査）モデルプロジェクト」として採択された。 ※共生社会ホストタウンの登録については、次ページ参照

川崎市が「共生社会ホストタウン」に登録されました!

本市では、東京2020大会を契機に、英国のホストタウンとして交流計画に基づく文化・スポーツ等における取組を推進するとともに、特にパラリンピックに重点を置き、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指し、「かわさきパラムーブメント」を推進しています。

このたび、共生社会の実現に向けた取組を推進する「共生社会ホストタウン」として「かわさきパラムーブメント」と英国チームの事前キャンプ受入れの取組が評価され、平成30年5月29日付けで本市が登録されました。

1 共生社会ホストタウンの概要

ホストタウン制度の枠組みのなかで、パラリンピアンとの交流をきっかけに、共生社会の実現に向けた取組を推進する国の制度であり、具体的には、「心のバリアフリー又はユニバーサルデザインの街づくりの取組の継続的・加速的な実施」と「東京大会の事後交流も含めた幅広い形での相手国・地域のパラリンピアンと市民との交流」を行っていくものです。

2 登録の目的

パラリンピックに向けた機運醸成を図るとともに、心のバリアフリーをはじめとする「かわさきパラムーブメント」の推進による共生社会の実現に向けて、より一層の弾みをつける契機とします。

3 登録による効果

本市の共生社会ホストタウンに関する取組が好事例として多方面に紹介され、川崎発のムーブメントが全国に広がっていくことが期待されます。

4 本市の取組

別紙参照

5 他の自治体の取組状況

第1次登録（平成29年12月公表）

三沢市（青森）、浜松市（静岡）、明石市（兵庫）、宇部市（山口）、
高松市（香川）、世田谷区（東京）

第2次登録（平成30年5月公表）

遠野市（岩手）、神戸市（兵庫）、鳥取県・鳥取市(2自治体合同で登録)
田川市（福岡）、飯塚市（福岡）、大分市（大分）

問い合わせ
川崎市市民文化局
オリンピック・パラリンピック推進室
担当 藤原・井上
電話 044-200-0528

川崎市の共生社会ホストタウン 活動計画

かわさきパラムーブメントの推進と英国チームの事前キャンプ受入

持続可能なまちづくりに向けて、様々な価値を持つ東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、**特にパラリンピックに重点を置き、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指す運動を「かわさきパラムーブメント」と命名。**

検討段階から障害者団体等の意見を聞き、方向性を示した「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」を策定。

ビジョンでは、「多様性と社会的包摂」及び「川崎のブランド力」に大別した9つのレガシーが形成された状態を明らかにし、その実現に向け、障害のある方をはじめとする社会的マイノリティの方々も一緒になり、市民一人ひとりが主体となり川崎から社会変革を促進。

また、英国代表パラリンピアンとの交流等により、パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図るとともに、共生社会の実現に繋げる。

めざせ！やさしさ日本代表！

みんなの違いを活かせるチーム。
障がい、年齢、人種やLGBT
いろんな個性をチャンスにしよう。
川崎らしく、力強く。
未来を変えていく力は
私たちの中にある。



かわさきパラムーブメント

本市の掲げるステートメント入りのロゴ

ユニバーサルデザインの街づくり

● UDタクシーの普及と利用環境整備

- UDタクシーの導入補助（平成29年度末で58台）
- 専用乗り場の整備
→引続き、車両台数の増加と乗り場整備を推進
- UDタクシーを活用した工場夜景ツアーの実施



UDタクシー

● 駅・道路などにおけるバリアフリー化の推進

- 19地区におけるバリアフリー基本構想等に基づく視覚障害者誘導用ブロックの設置等
- 市内バリアフリーマップ（主要施設のバリアフリー情報含む）の刷新

◆ 川崎駅周辺の取組

- 行政サービスと観光案内の機能を持つ「かわさききたテラス」におけるデジタルガイドマップによるバリアフリー情報の発信
- 駅周辺のエレベーターに優先使用表示の推進



飲食店調査の様子

● アクセシブルシティかわさき

- 市内飲食店のバリアフリー調査と情報発信の試行
- 店舗におけるバリアフリー対応表示の推進

心のバリアフリー

● かわさきかってにおもてなし大作戦(市民参加、市民活動の創発)

- パラムーブメントをより大きなうねりとしていくために、「ゲストからキャストへ」をキーワードに、障害の有無に関わらず多様な主体が「かわさきパラアンバサダー」として楽しく地域活動を行う、市民参加型のプロジェクトを推進

● 英国との交流事業

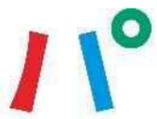
- ドレイク・ミュージック(英国音楽団体)と連携し、テクノロジーを活用することで、障害のあるなしに関わらず、音楽活動に関わる機会を生み出し、障害のある方が音楽に携われる取組の推進
- 高齢者のQOL向上を目指し、マンチェスター・カメラータ（英国音楽団体）のメンバーと連携した取組等の推進

● 短時間雇用プロジェクトと就労体験

- 市内事業者が仕事を切り出すことによる障害者の短時間就労の促進
(平成30年2月で延べ28名が就労)
- 障害者やひきこもりの方々に対し、様々な分野での就労を体験することで、労働・就労意欲を喚起し、正規就労を促進
(平成29年度は、74の体験企画を実施し、739名が参加)

● その他

- 市職員のユニバーサルマナー検定取得や事業者向けセミナーの開催、平成32年度までに全小中学校で障害者スポーツ体験講座の実施など



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について②

4 参加型アートイベントの開催

イベント名：「参加型アートイベント 工事現場のカベに絵を描こう！」

日時：10月13日（土）～14日（日）10時～15時

場所：等々力硬式野球場 工事用仮囲い

開催目的：このイベントを機に、参加者が様々な他者がいることに気づき、また、絵画制作を通じて、共に楽しみ、協力し合う体験を通じて、かわさきパラムーブメントが目指す共生社会の実現につなげていく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

参加者数：400名超（小学生以上）

※近隣の小学生やその保護者に加え、地域活動支援センターに通う障害者の方なども参加した。

当日の様子：参加者が途切れることがなく、1日目で2日分の制作を行ってしまったため、制作スペースを拡大し、当初の倍の幅29mの大作が出来上がった。参加者からは、「描いた絵が残るので良い記念になった」とか、「今後もこうしたイベントを続けてほしい」などの声上がり、好評であった。かわさきパラムーブメントの理念浸透やレガシー形成に向け、今年度の検証を踏まえ、翌年度以降も開催予定。



イベントの様子



完成した絵

5 「Colors かわさき展」の開催

日時：11月16日（金）～11月25日（日）

場所：ミュージア川崎シンフォニーホール企画展示室

開催目的：アートを通じて、障害のあるなしに関わらず、作品の魅力を感じ、かわさきパラムーブメントの目指す社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の実現に向けて開催する。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催内容：未来へつながる才能の育成と発掘をめざして、約40人のアーティストや市立特別支援学校の子どもの作品を展示する。作品（一部を除く）については、期間終了後、入札で購入することができる。

さらにその期間を「Colors art fair」として、アーティストとの交流会をはじめ、シンポジウム、切り絵、ライブペイント、ダンスのワークショップ、コンサート、講座などを開催する。



リーフレット

6 市民参加（パラムーブメント・アクション）の取組について

(1) 今年度の取組について
詳細については次ページ参照

(2) 市民講座について

11月26日を皮切りに市内4か所の会場で来年3月までに計4回の市民講座を開催する。市民活動や地域活動へ受動的に参加する人や潜在意欲がある人をターゲットとして巻き込むことで、かわさきパラムーブメントや英国おもてなしに関する自身の「やりたいこと」をマイプロジェクトとして実践することを通じて、かわさきパラムーブメントの理念浸透を図る。

HPやリーフレットの作成により、参加者を募集している。

⇒かわさきパラムーブメントの目指すすべてのレガシー形成へ

その中でも特に3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑥多様な主体が地域づくりに貢献しているまち

レガシー⑧来訪者が「行って良かった」と思えるまち



市民参加（パラムーブメント・アクション）について

めざせ！やさしさ日本代表！
かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメント
キックオフイベント開催しました！

NEWS LETTER
のしりて

市民参加型プロジェクト、始動！！

2020年の東京オリンピックに向けて、目的は新しい中高生世代プロジェクトが動き出しました！その第一歩、かわさきパラムーブメントとして、3月10日（土）に、本町で市民参加型プロジェクトのキックオフイベントを開催しました。この日は、かわさきパラムーブメントの代表として、国子さんと土井さん、この日のイベントには、ご参加いただいたみなさんが、様々な意見を出し合い、プロジェクトのアイディアを話し合いました。結果的に、かわさきパラムーブメントの活動が、市民参加型プロジェクトとして、正式にスタートしました。

かわさきパラムーブメントとは

社会参加や多岐なつながりや気づきを促進するため、市民参加型プロジェクトの質や規模を充実させるための活動を展開します。2020年2月10日（土）に、本町で市民参加型プロジェクトのキックオフイベントを開催しました。この日は、かわさきパラムーブメントの代表として、国子さんと土井さん、この日のイベントには、ご参加いただいたみなさんが、様々な意見を出し合い、プロジェクトのアイディアを話し合いました。結果的に、かわさきパラムーブメントの活動が、市民参加型プロジェクトとして、正式にスタートしました。

日程
2018年3月10日（土）18:00-19:00

会場
川崎市役所第3庁舎1階601号

参加費
0円

プログラム
・はじめに
・かわさきパラムーブメントとは
・ゲストレクチャー
「マイプロジェクトの作りかた」
・アイディア出し
・トークセッション
・閉会

キックオフWS
(3月10日開催)

既に地域活動を実践している市民にヒアリングを実施。さらにシニアパラアンバサダーとして協力を依頼するとともに、市民講座等の開催に向けミーティングを実施。

7/9 第一回ミーティング



シニアパラアンバサダーとオリパラ室が卓を囲んでディスカッション

7/27 第二回ミーティング



こすぎコアパークで自由参加のオープンミーティング。車いすユーザーも参加。

8/27 第三回ミーティング



具体的企画の実現に向けたWSを実施。外国人（英国人）も企画に参画した。

シニアパラアンバサダーとミーティング

説明会イベントの企画・実施。

※市民活動や地域活動に受動的に活動に参加する人や潜在的に活動に参加する人向けに企画

協力

かわさきパラムーブメント
おもてなし大作戦

Shinkawasaki まちごとカフェ
Mitsukosugi 逆ゼンガしよ
Tamaunaga ポンコツラ度川ウォーキング

チーム対抗！おもしろ説明会イベントを開催！
KICK OFF EVENT 2018.10.8 [月-祝]

イベントの様子

説明会イベント（10月8日開催）

市民講座の募集

既存の取組

活動報告会の実施

・シニアパラアンバサダーによる既存プロジェクトの実施
・パラアンバサダーによる新規プロジェクトの実施

パラアンバサダーやマイプロジェクトの質や規模を充実させていながら、**平成32年度を集大成**と位置付ける

実践

新たな実践

新たな実践

新たな実践

新たな実践

新たな実践

新たな実践

パラアンバサダーによる実践

市民講座の開催

・受動的に参加する人
・潜在意欲がある人
・マイノリティ
をターゲットとした市民講座を市内4ヶ所で実施

マイプロジェクト（自分のやってみようこと）の実践

自ら実践する市民（パラアンバサダー）の拡充

参加

マイノリティ

情報交換の実施

NPO

町内会・自治会

講座の周知



めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について③

7 バリアフリーマップの改定について

⇒③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～の形成へ

詳細については次ページ参照

8 エレベーター優先表示について

道路公園センターが所管するエレベーター（駅自由通路、跨線橋、ペDESTリアンデッキなど市内約30か所）に、障害者、高齢者等の優先案内の表示を行った。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

レガシー⑧来訪者が「行って良かった」と思えるまち



優先表示デザイン



実際に表示されている様子
(さいわい歩道橋にて)

川崎市バリアフリーマップの改定について

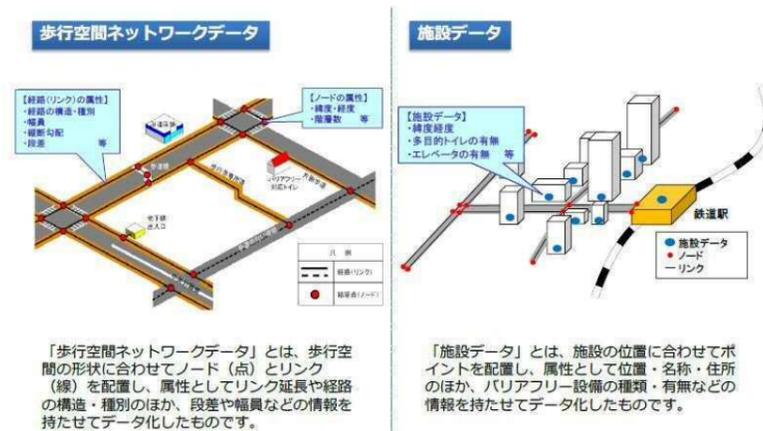
1 現状と背景

- 平成 16 年度からバリアフリー基本構想作成に着手し、旧バリアフリー法に基づく基本構想の改定を含め、昨年度までに市内ほぼすべての駅周辺地区において基本構想・推進構想を策定した。
- 平成 23 年度に作成したバリアフリーマップでは川崎市域分を 1 冊の冊子にまとめたもので、作成以降、情報の更新ができておらず、現在は配布していない。このマップにまとめた施設のバリアフリー情報については、本市 HP 上のガイドマップかわさきに掲載している。(右頁の上段図を印刷可能)
- 昨年末、バリアフリーマップの改定方法について、本市のまちづくり連絡調整会議の学識経験者へヒアリングを行った。地図情報は紙よりもスマートフォンなどの情報提供が求められており、また経路のバリアの有無などの情報を提供していくことが重要であるとの意見を頂いた。
- また、国交省の「バリアフリー・ナビプロジェクト (ICT を活用した歩行者移動支援の推進)」について、国交省へヒアリングを行った。国交省がツールを提供し、自治体が集めた施設情報と経路情報をオープンデータ化することで民間事業者による多様なアプリ開発を促すものとのことであった。

2 バリアフリーマップの改定の考え方

- バリアフリーマップには施設情報だけではなく経路情報の提供が重要と考えられるため、国交省の「バリアフリー・ナビプロジェクト」でのツールを活用し、マップを作成する。
- バリアフリー基本構想重点整備地区を中心に各区の拠点駅周辺 7 カ所についてマップを作成する予定。

- 平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに広域拠点 3 カ所のマップの改定を行う。
- ICT を活用して誰もがバリアフリー情報を利用できる環境をつくる。
- 経路情報と施設情報の両方をガイドマップかわさきに掲載し、また、右頁の下段のような地図が出力可能なため、冊子が不要となり、低コストでのマップ更新が可能となる。



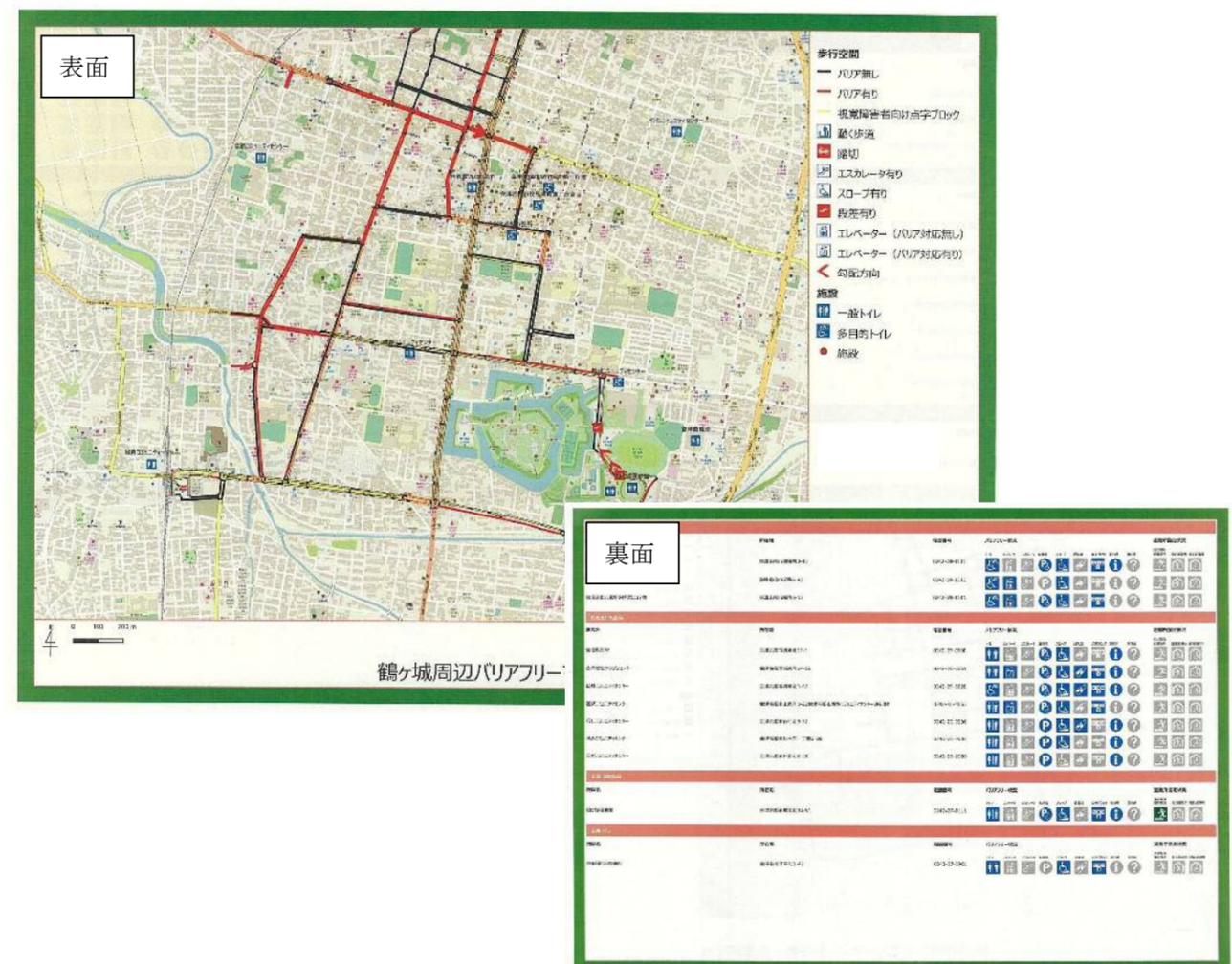
3 具体的な取組

- モデル地区として川崎駅周辺地区のマップ改定
 - 国交省のバリアフリーマップの作成に向けた自治体施策連携の実証に応募し、平成 30 年 8 月に選定されたため、今年度は最も施設数が多い川崎駅周辺地区のマップを改定し、ガイドマップかわさきにて公表する。
- インクルーシブの視点で利用者意見を反映する
 - 改定したマップについて、障害者等も含めたまちづくり連絡調整会議での意見等を反映する。
- オープンデータ化の実施
 - 改定した川崎駅周辺地区のデータはオープンデータ化し、川崎市 HP、国交省 HP にて公表する。

<現在の川崎市バリアフリーマップ>



<会津若松市のバリアフリーマップの事例>





めざせ！やさしさ日本代表！

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について④

II.かわさきパラムーブメントのプロモーション

1 かわパラ2018 powered by PARA★DO! (昨年に引き続き開催)

日 時：8月25日（土） 11時～18時

場 所：ラゾーナ川崎ルーファ広場/プラザソル

開催目的：昨年に引き続き、本イベントを通じてパラリンピックへの機運醸成を図る共に、かわさきパラムーブメントの理念浸透を目的として開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち
- レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催内容：障害者スポーツの体験やパラアスリート、オリンピックによるトークショー、音楽ライブなどを実施した。今年度は、開催会場を拡大し、ルーファ広場に加え、同じくラゾーナ川崎内にあるプラザソルも会場とした。かわさきパラムーブメントの理念浸透やレガシー形成に向け、今年度の検証を踏まえ、翌年度以降も開催予定。



参加者数：約22,000名

障害者スポーツ等体験コーナー参加者数 2,120名
(参考：昨年同イベントの体験コーナー参加者数 931名) イベントポスター
※今年度はアンケートを実施した結果、パラムーブメントを体感することができたという意見が大多数を占めた。



イベントの様子

2 障害者音楽フェスティバル (今年度初開催)

日 時：5月19日（土） 14時～16時

場 所：カルッツかわさき

開催目的：障害などの有無にかかわらず誰もが音楽等を楽しむ機会を通じて、お互いを理解・尊重し、多様性を受け入れる社会を目指すことを目的として開催した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

- レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～
- レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

開催内容：ダウン症のリコーダー奏者の荒川知子さんや盲目のピアニストの梯剛之さんの演奏のほか、障害者によるファッションショー、市民合唱団、手話合唱団、障害者有志による合唱が行われた。かわさきパラムーブメントの理念浸透やレガシー形成に向け、今年度の検証を踏まえ、翌年度以降も開催予定。



コンサートチラシ

その他：点字プログラムの配布や手話通訳が行われたほか、座席に設置されたポーチやクッションからの振動により音を体感することができる、「体感音響システム」を導入した。

参加者数：約500名

※観覧者からは、「素晴らしい演奏を聴けてよかった。」「普段コンサートに行く機会がないので楽しく過ごせた」「次回もぜひ開催してほしい。」など好評だった。



コンサートの様子



めざせ! やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

今年度の主な取組について⑤

3 かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン冊子

作成目的：本年3月に策定した、「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」を広く市民の方や事業者にわかりやすい形で伝えるため作成した。

冊子内容：「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」の概要を図で説明するとともに、特に9つのレガシーについては、ロゴのオブジェを作成し、関連する事業や場所で一緒に撮影した写真を掲載しながら、解説をしている。

発行部数：4,000部（近日中に2,000部増刷予定）

配布先：公立及び私立小学校・中学校・高校、障害者団体、障害者スポーツ団体等に配布している。
また、各区役所、市民館、図書館等にて配架している。

その他：QRトランスレーターを活用

⇒表紙に掲載されているQRコードを読み込むことで、文字の音声読み上げをする他、13言語による翻訳（一部言語においてその言語による音声読み上げも可能）できるシステムを導入した。このシステムにより、視覚障害者への対応を可能としたほか、新たに多言語版冊子を作成することなく、この1冊で外国人への対応を可能とした。



冊子表紙

4 かわさきパラムーブメントプロモーション動画

作成目的：かわさきパラムーブメントが目指す「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指す地域づくり」と理念である「人々の意識や社会環境のバリアを取り除き、誰もが社会参加できる環境を創出すること」を表現し、実写映像として市民等に分かりやすく伝えるために作成した。

動画内容：14シーンから構成される255秒版とそこからそれぞれ3シーンずつ抜粋された30秒版を3本作成し、計4本の動画となっている。
ステートメントによる「やさしさ」あふれる行動が表現され、人々に連鎖する様子が映像化されている。



動画の一場面の様子

上映場所：アゼリアビジョン、きたテラス、各区役所、市ホームページ等で上映

その他：市内小中学校における総合的な学習の時間などでの活用を進める。
⇒レガシー①多様性を尊重する社会をつくる子どもを育むまちの形成へ

5 啓発用販売及び配布グッズの作成

作成目的：かわさきパラムーブメントの考え方・理念を市民一人ひとりが理解し、“自分ゴト”として捉えて行動してもらうための手段の一つとして作成した。パラムーブメントの理念に賛同する方々に購入してもらうことで、気軽にパラムーブメントを応援するという意思表示となる。併せて、普及・啓発のために配布用グッズも作成した。

内容：①販売用グッズ（2種類）

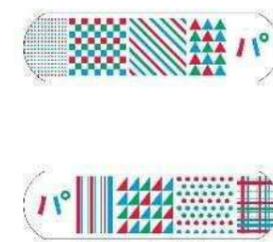


8月25日に開催されたかわパラ2018を皮切りに、市民祭や各区民祭等でブースを出展し随時販売している。

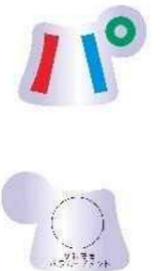
②配布用グッズ（3種類）



クリップ



ばんそうこう（発注中）



ピンバッジ（発注中）

6 その他

- ・市民祭、区民祭、多摩川マラソン等にかわさきパラムーブメント説明用パネルによるブースを出展。（物品販売も実施）
- ・大島小学校や南百合丘小学校の総合的な学習の時間でパラムーブメントの授業を行った。
- ・商工会議所異業種交流会、中小企業同友会、麻生区町会連合会でパラムーブメントの講演会を実施した。



ブースの様子